

# LaserPanel モバイルキャビネット (LPM-100) 組立説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

- この説明書は、製品の組立て方、使い方、使用上の注意事項について記載してあります。
- ご使用前に必ず、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- また製品を末永くご使用いただくために、この説明書は大切に保管してください。

## 組立てをはじめる前に

- 組立てる前に必ず、構成部品一覧/ビスパック一覧、完成図をご覧ください。
- 組立作業をする場合は、カーペットの上か、毛布などを敷いた所で、床や製品を傷つけないようにご注意ください。
- 組立にあたっては、プラスドライバー（中型）をご用意ください。

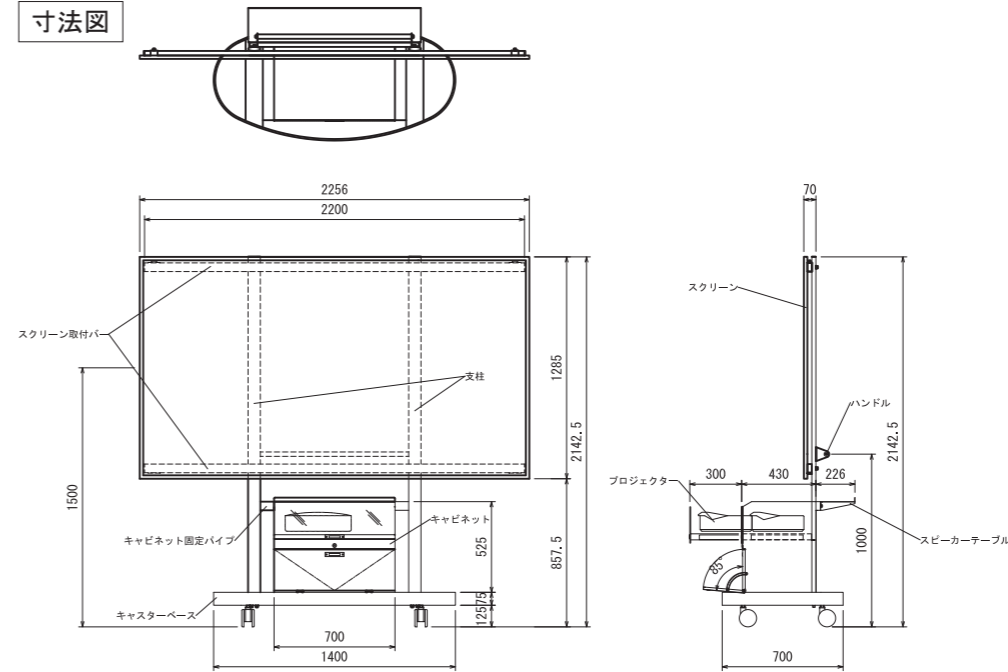
※最後に安全上の注意を必ずお読みください。

※設置、組立の不備、または天災による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

[ 本体質量 ] 約 99.0 kg

品番	品名	数量	外観図	品番	品名	数量	外観図	品番	品名	数量	外観図
1	キャスターベース	1		8	ハンドル取付金具	2		15	平スパナ M12 用	1	
2	支柱	2		9	キャスター (ストッパー付)	2		16	六角レンチ M8 用	1	
3	キャビネット	1		10	キャスター	2		17	六角レンチ M5 用	1	
4	キャビネット固定パイプ	1	寸法図参照	11	STSフック	4		18	六角レンチ M4 用	1	
5	スクリーン取付バー	2		12	STW用取付金具【A】	4		19	ビスパック		一式
6	スピーカーケーブル	1		13	STW用取付金具【B】	4					
7	ハンドル	1		14	平スパナ M8 用	1					

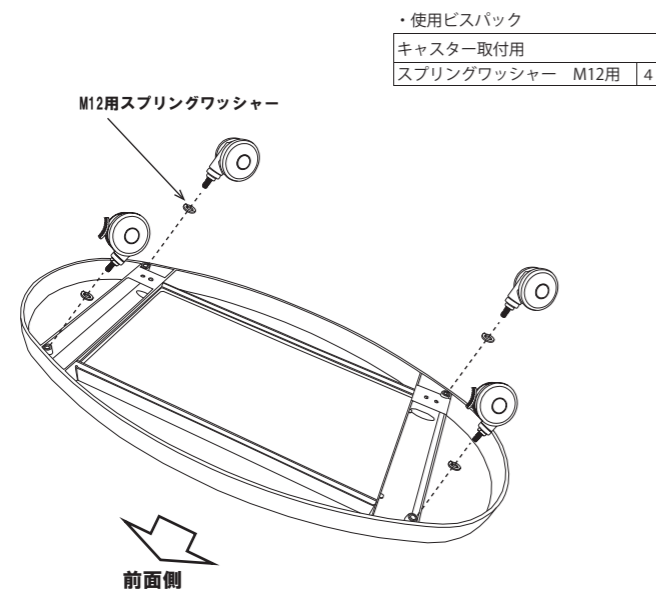
寸法図



完成図



## 1 キャスターの取付



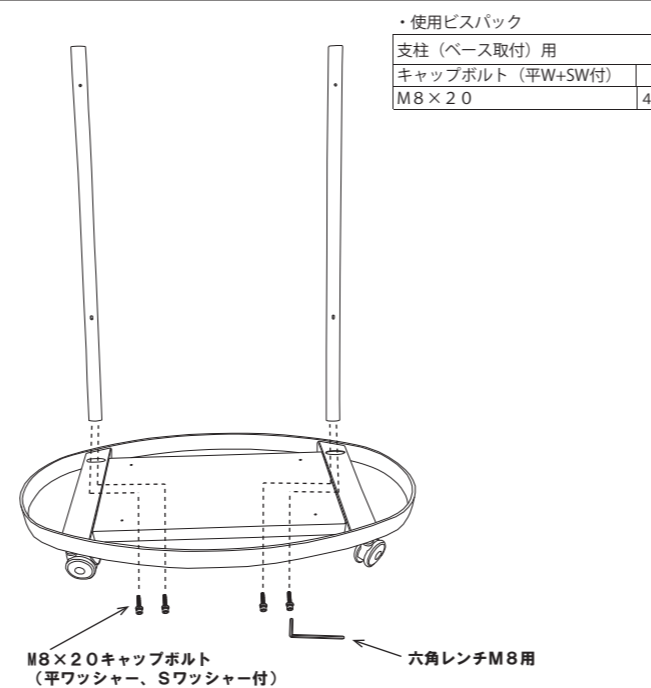
・使用ビスパック

キャスター取付用	
スプリングワッシャー M12用	4

キャスターベースにキャスターを取付けます。  
キャスターベースの支柱固定用ボルト穴がある側が背面側となるのでストッパー付きキャスターを前面側、ストッパーなしキャスターを背面側になるように取付けてください。

※キャスターを取付けたあとの作業は必ずキャスターのストッパーを使用し動かないようにしてください。

## 2 支柱の組立



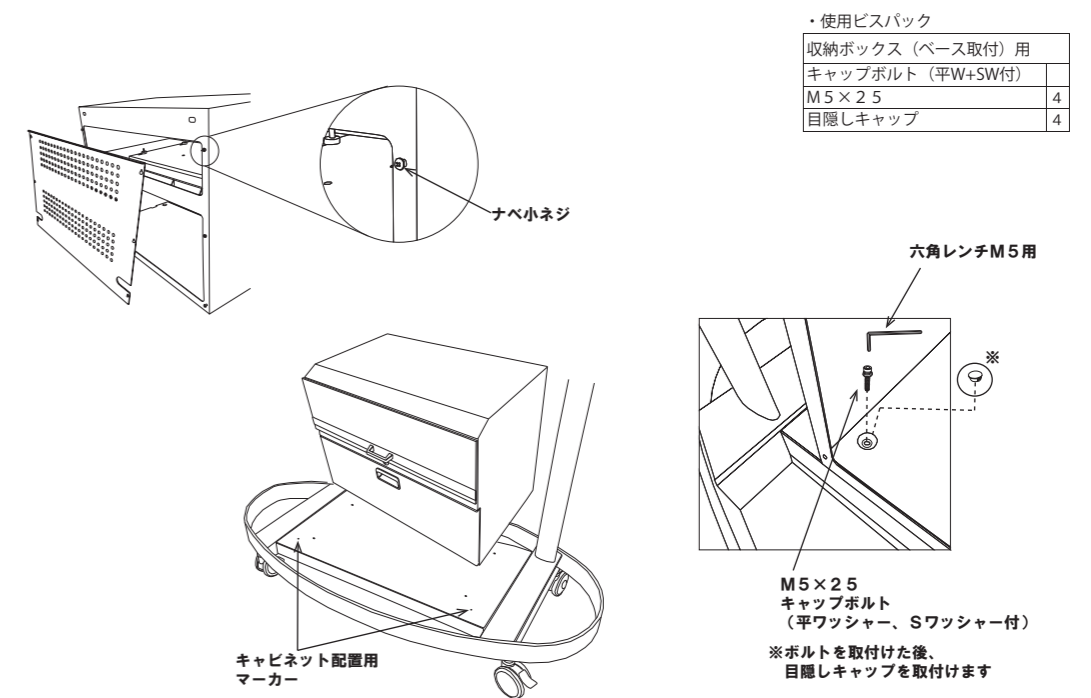
・使用ビスパック

支柱 (ベース取付) 用	
キャップボルト (平W+SW付) M8 x 20	4

キャスターベースに支柱を立て底側からM8 x 20キャップボルトをM8用六角レンチを使用して固定します。  
支柱を立てる際は2つの穴がある面を前面側になるように立ててください。

(支柱の背面側には5つの穴があります。)

## 3 キャビネットの取付



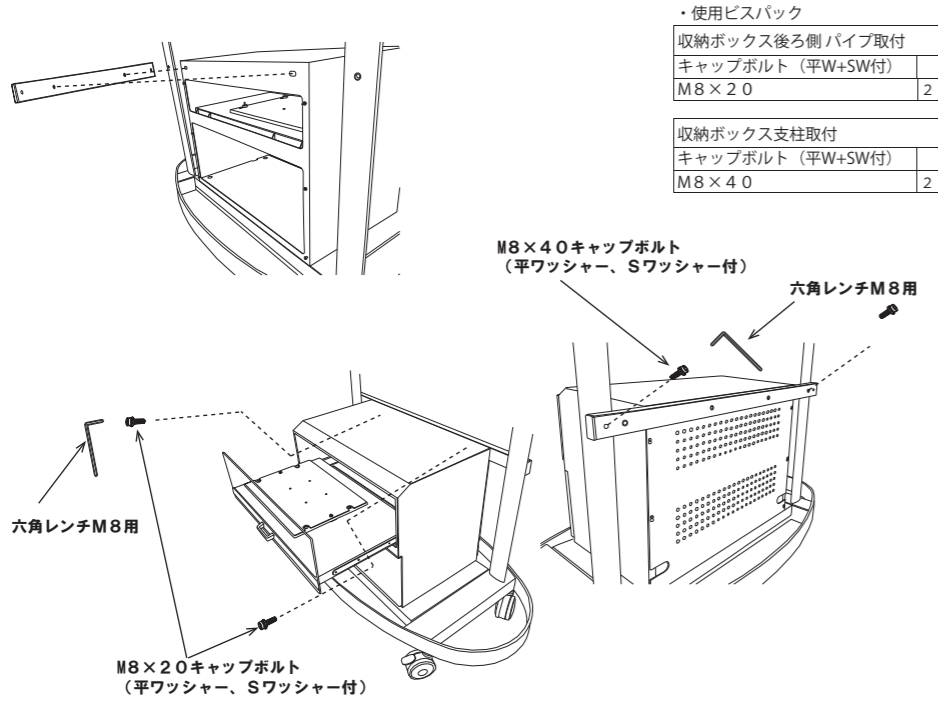
・使用ビスパック

収納ボックス (ベース取付) 用	
キャップボルト (平W+SW付) M5 x 25	4
目隠しキャップ	4

キャビネットを梱装箱から取出したらプラスドライバーを使用して6箇所のナベ小ネジを緩めて背板を取外します。  
背板を取外したキャビネットをベース金具の上に乗せます。この時ベース金具の天面にある黒いマーカとキャビネットの前角を合わせるようにして置きます。

キャビネットの底板にある開口部からベース金具に設けられたネジ穴が見えることを確認してからM5 x 25キャップボルトをM5用六角レンチを使用して固定しますキャップボルトが固定できたら底板の開口部に目隠しキャップをはめ込みます。

#### 4 キャビネットと支柱を固定

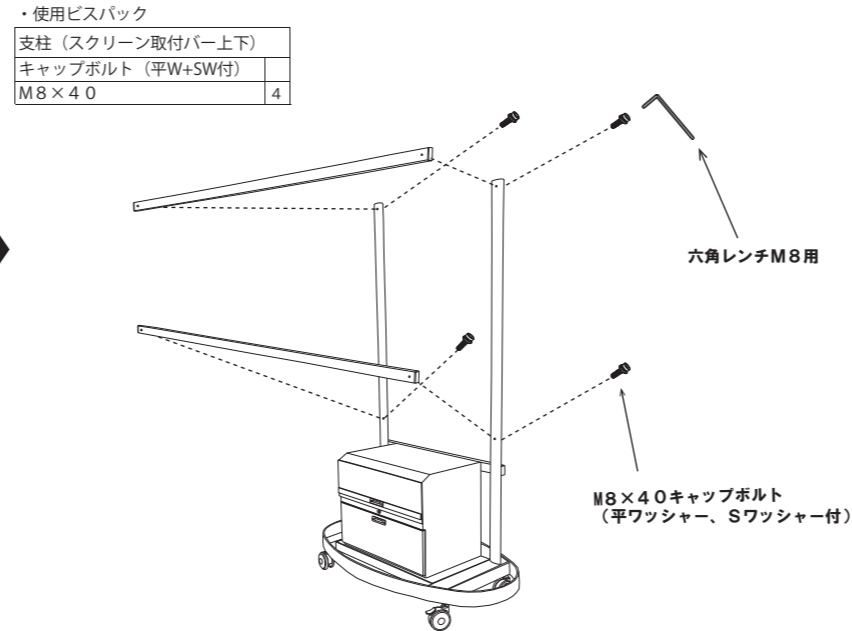


キャビネット背面の内側からキャビネット固定パイプをM8×20キャップボルトで手締めで仮止めます。支柱側のキャビネット固定用ネジ穴とキャビネット固定パイプのネジ穴の位置を合わせてM8×40キャップボルトをM8用六角レンチを使用して固定します。支柱とキャビネット固定パイプが固定できたら仮止めていたM8×20キャップボルトをM8用六角レンチで固定します。

取外していたキャビネットの背板を取付けます。

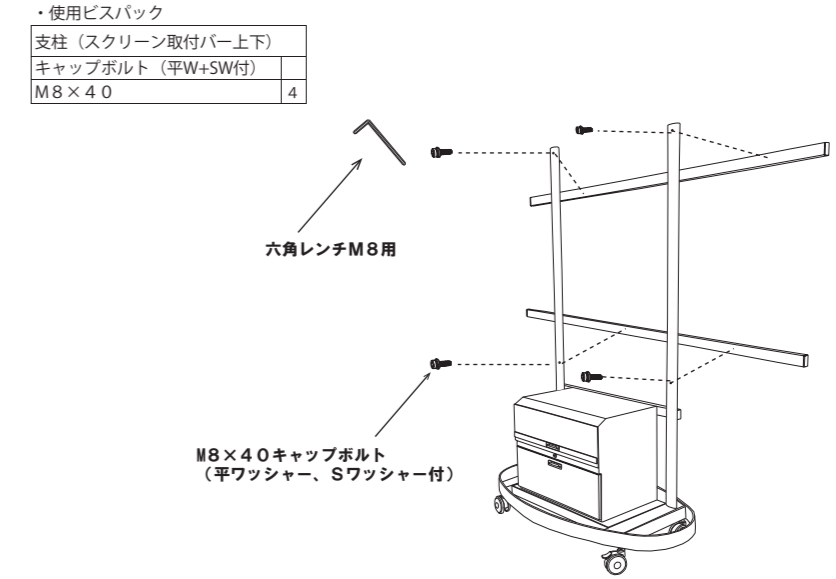
#### 5 スクリーン取付バーの取付

##### 【STSスクリーン (ボードタイプ)】



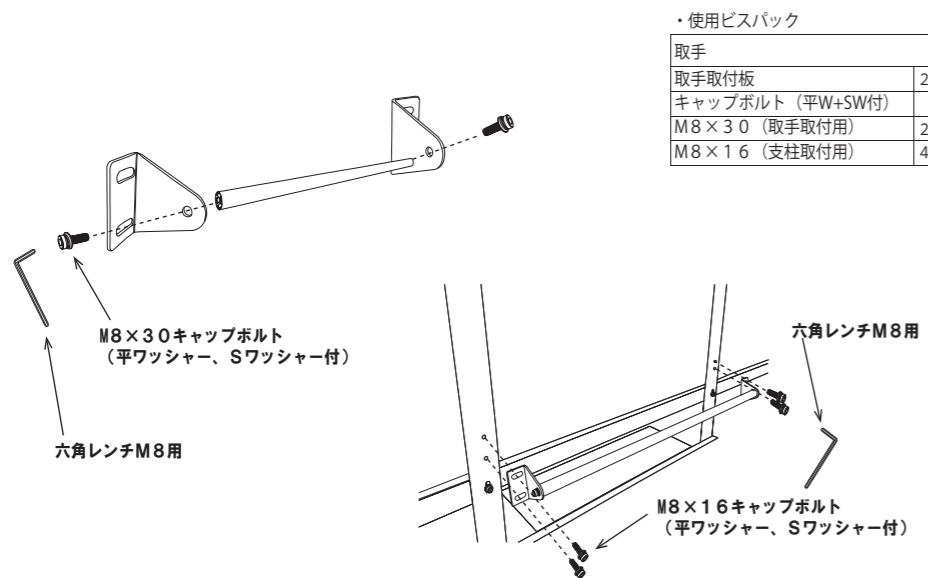
スクリーン取付バーを支柱の**前面**に取付けます。支柱背面の貫通穴からM8×40キャップボルトを通しスクリーン取付バーのネジ穴に仮止めます。右下の図面を参照し縦のスタッドボルトピッチ (1165mm) と同じ寸法であることが確認できたら4箇所のボルト位置をM8用六角レンチで固定します。

##### 【STWスクリーン (張込みタイプ)】



スクリーン取付バーを支柱の**背面**に取付けます。支柱背面の貫通穴からM8×40キャップボルトを通しスクリーン取付バーのネジ穴に仮止めます。下の図面を参照し縦のスタッドボルトピッチ (1165mm) と同じ寸法であることが確認できたら4箇所のボルト位置をM8用六角レンチで固定します。

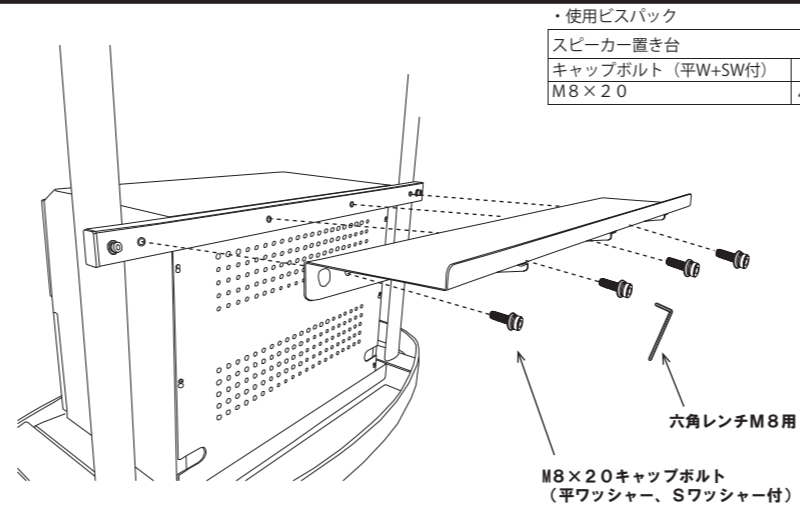
#### 6 ハンドルの取付



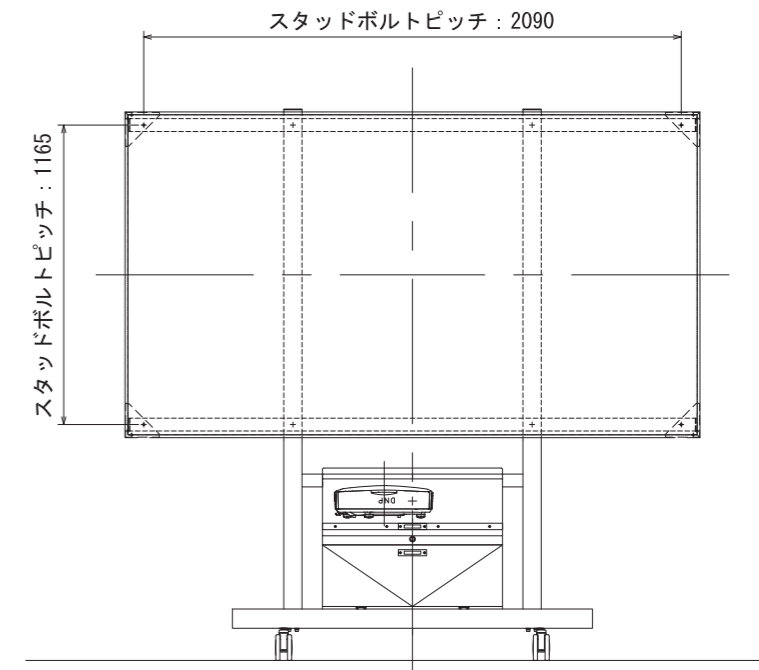
ハンドルとハンドル取付金具をM8×30キャップボルトでM8用六角レンチを使用して組合せます。この時ハンドル取付金具は長穴が空いている部分が外側を向くようします。

組み合わせたハンドルは支柱背面にあるハンドル取付用ボルト穴とハンドル取付金具の長穴が合うことを確認して、M8×16キャップボルトをM8用六角レンチを使用して固定します。

#### 7 スピーカーテーブルの取付

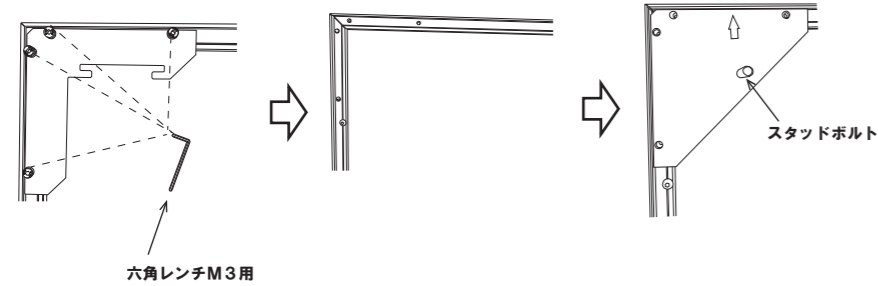


スピーカーテーブルのボルト用の丸穴をキャビネット取付パイプの背面にあるボルト穴の位置に合わせてM8×20キャップボルトをM8用六角レンチを使用して固定します。



## 8 スクリーン取付用金具への取替

### 【STSスクリーン（ボードタイプ）】

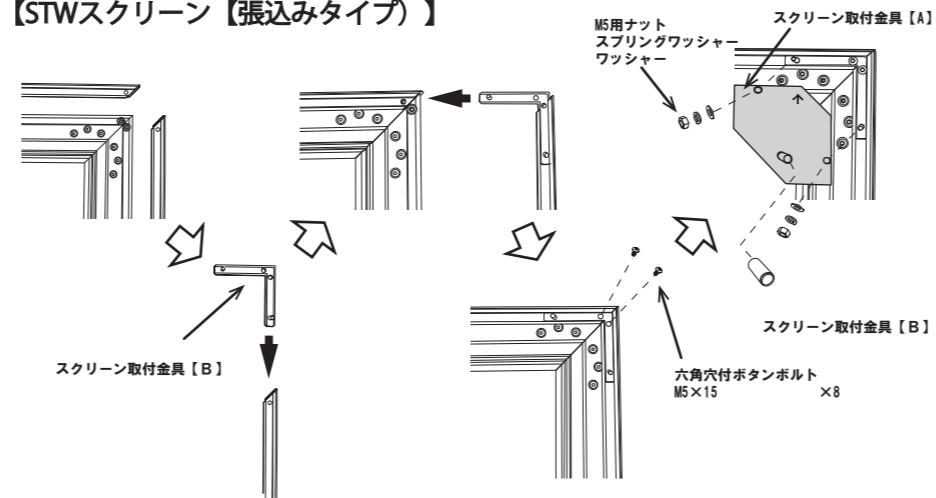


3mmの六角レンチを使用し4本のキャップボルトを取り外します。  
 (取り外したキャップボルトはなくさないようにしてください。)  
 キャップボルトをすべて外したら既存の引掛け金具を取り外してください。

引掛け金具を取り外した箇所にスタンド用取付金具（STSフック）を取付けます。  
 (取り付ける際、金具に表記されている矢印が上下方向を向いていることを確認してください。)  
 ネジ穴の位置を確認したら取り外したキャップボルトで金具をしっかりと固定します。

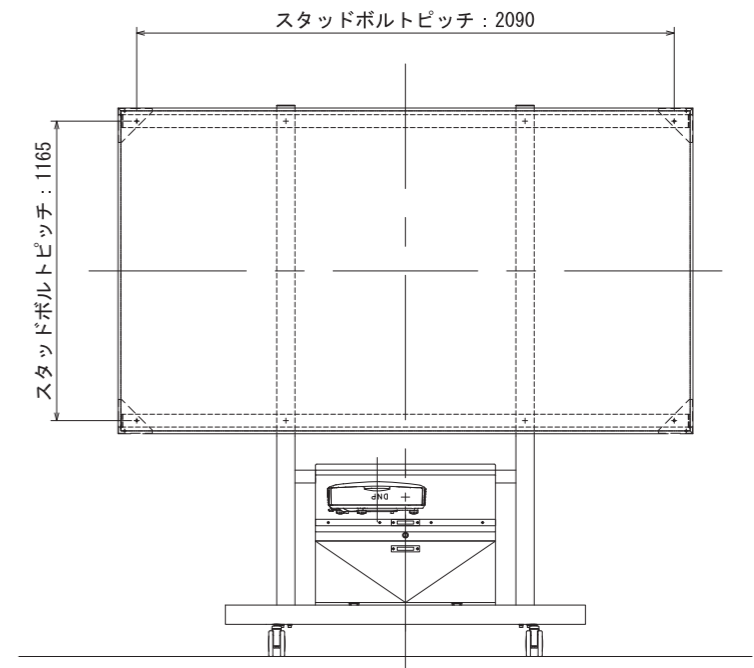
4隅にスタンド用取付金具を取付ましたら、右記の図面を参照していただきスタッドボルトのピッチを確認してください。

### 【STWスクリーン【張込みタイプ】】

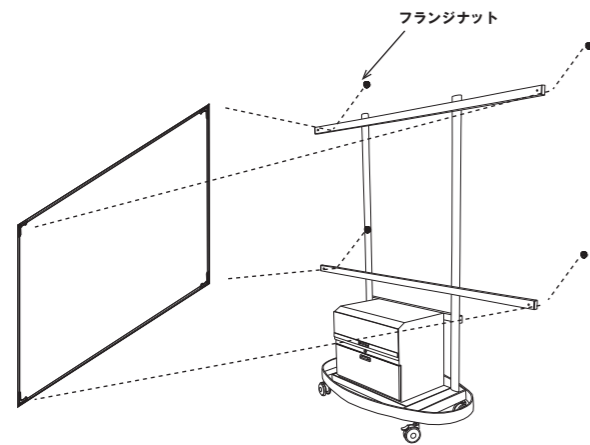


STWスクリーン用取付金具を【A】、【B】を分けた状態にして用意していただきます。  
 張込スクリーンの化粧枠を取り外し、短い化粧枠の背面の溝にスクリーン取付金具【B】を両端に差し込みます。予めスクリーンに取付けた長い化粧枠の背面の溝にもスクリーン取付金具【B】を差し込みながら張込スクリーンの四方に化粧枠を取付けます。

四方の取付位置が決まればM5×15の六角穴付ボタボルトで固定します。  
 固定したスクリーン取付金具【B】のボルト部分にスクリーン取付金具【A】の穴をとおして付属のM5用ナットを使用して締め付けます。  
 このとき、スクリーン取付金具【A】の表面に打刻してある矢印がそれぞれ上下方向を向くように取付けてください。  
 スタンド用取付金具が取付けられたら、スペーサーを装着します。

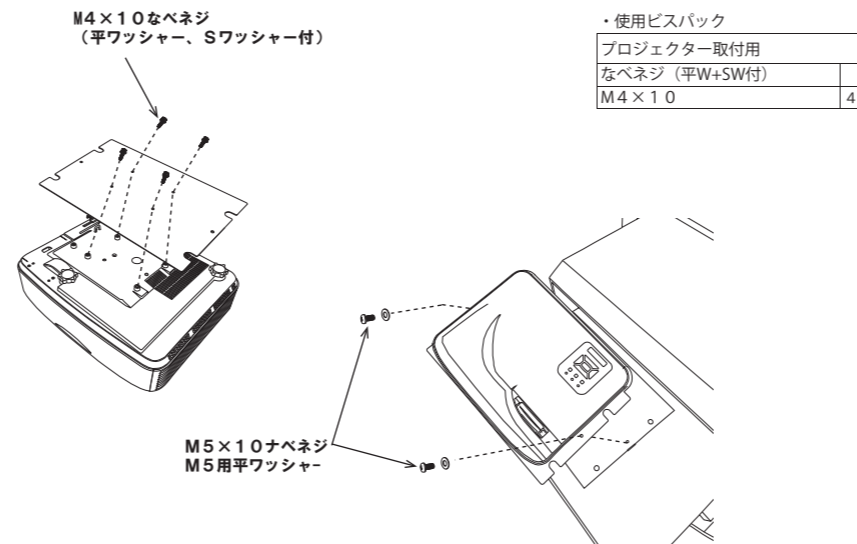


## 9 スクリーンの取付



スクリーンの背面にスタンド取付用金具がしっかりと固定していることを確認後、スタンド取付用金具のボルト部分をスクリーン取付バーの両端にある貫通穴に通してください。  
 4箇所のボルトが貫通していることを確認できましたらフランジナットを使用して固定してください。

## 10 プロジェクターの取付



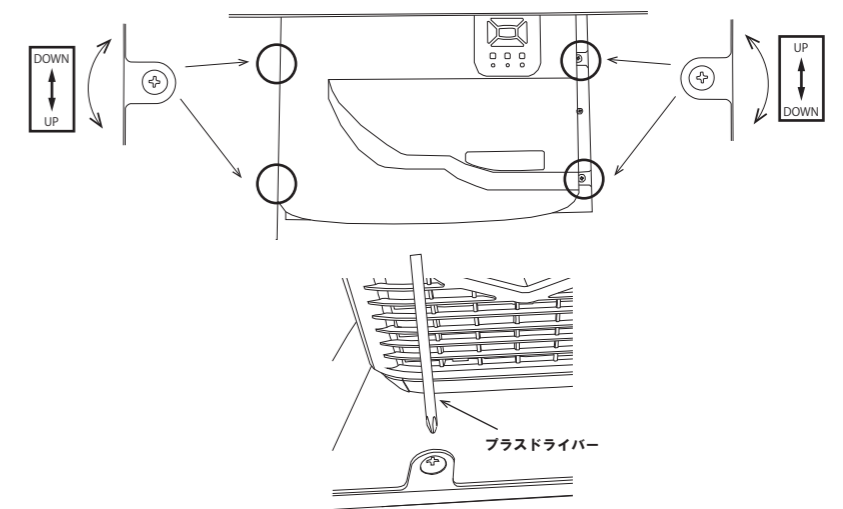
キャビネット内部にあるスライドテーブルを引出し、M5×10なベネジを外してプロジェクター取付用プレートを取外します。(この時取外したなベネジを紛失しないように気をつけてください。)

ひっくり返したプロジェクターの上にプロジェクター取付用プレートを置いてM4×10なベネジをプラスドライバーを使用し取付けます。  
 この時、プロジェクター取付用プレートの向きに注意してください。

プロジェクターを固定したプレートをスライドテーブルに戻しM5×10なベネジを締めて固定します。

キャビネットにDVD/BDプレーヤーなどを設置しプロジェクターと接続して組立は完了です。

## 11 プロジェクター投射位置の調節



プロジェクターから投影される映像の画角を調節するためにはスライドテーブルにある高さ調節プレートの4箇所の調節ネジをプラスドライバーを使用して調節します。

高さ調節ネジを締めることでDOWN方向に、緩めることでUP方向に調整することができます。

# 安全のために必ず守ること

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。



## 警告

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに  
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容



## 注意

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに  
「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

●図記号の意味は次のとおりです。



絶対におこなわないでください。



必ず指示に従って、おこなってください。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。



## 警告

●お客様自身で商品の改造は絶対にしないでください。  
→変形や破損、転倒などを引き起こす原因になります。

●設置後、移動後は必ずキャスターのストッパーをロック位置にしてください。  
→誤った設置や調整は、転倒してけがの原因になります。

●LaserPanelの取付以外のご使用は絶対になさらないでください



## 注意

設置するとき

●設置作業は必ず2人以上で行って下さい。  
→重量物が落下して怪我の原因になります。

●床に傾斜や段差のある不安定な場所には設置しないでください。  
→転倒してけがする恐れがあります。

●屋外での使用や水漏れを避けてください。  
→さび・変色の原因となります。

●ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。  
→スクリーンが落下してけがの原因になります。

使用するとき

●乱暴な扱いや用途以外の使用はしないでください。  
→けがや故障、破損の原因になります。

●記載されているスクリーン以外は乗せないでください。  
→商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります。

●商品の上に足を掛けたり、腰掛けたりしないでください。又、小さいお子様が近くで遊ばないように注意してください →商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります

●使用中にネジの緩みによるガタツキが生じた場合は締め直してください。締め直してもガタツキが直らない場合は使用を中止してください。→そのまま使用しますと、変形や転倒を起こす原因になります。

移動させるとき

●商品を移動させるときは、転倒防止のため2名以上で操作してください。  
→1名は本体を操作、もう1名は安全確認をした後、移動させてください。

●移動する際に段差のある所や、ジュウタン等柔らかい所を通過する場合は十分にご注意ください。  
→転倒してけがする恐れがあります。

## アフターサービス

●この説明書には保証書が付属しています。保証期間はご購入日より1年間を保証期間とさせていただきます。保証期間中の修理は以下の保証規定に基づいて修理させていただきます。また保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料にて修理させていただきます。

## 保証規定

- 保証期間内に取扱説明書にしたがった正常な状態で故障した場合には無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に修理の必要が生じた場合には製品と保証書（取扱説明書）をご確認のうえ、販売店、または弊社修理窓口までご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 保証書にお買い上げ日の年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を故意に書き換えた場合。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異による故障及び損傷。
  - 使用の誤り、乱用、改造等による故障及び損傷。
  - その他、弊社の責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan

## 保証書

品名	LaserPanel モバイルキャビネット	型式	LPM-100
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 -	
	ご連絡先	- -	
販売店	お買い上げ日	年	月 日
	保証期間	お買い上げ日より1年間	
	店名・住所・電話番号		

●この製品を第三者に譲渡する場合は、この説明書も共に譲渡し、よく読んでから使用するようご注意ください。

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

### お手入れの仕方

- 通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがついたときは5~6倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。
- ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。サビや変色の原因になります。

別紙の組立説明書をよくお読みください。



株式会社 ケイアイシー

KIC 〒160-0022東京都新宿区新宿1-28-11  
TEL. 03-3357-7195  
<http://www.kic-corp.co.jp>

取説No. 471423